

三層構造モデルによる異文化適応から見る

介護技能実習生のキャリア展望

—ベトナム人介護技能実習生 19 名からの聞き取り調査から—

**Career outlook for long-term Care-Skill Trainees from the perspective
of cross-cultural adaptation based on a three-layer structure model**

—From an interview survey with 19 Vietnamese Care-Skill Trainees—

富山短期大学 健康福祉学科

小平達夫

Toyama College, Department of Health and Welfare

KODAIRA Tatsuo

In this study, we clarified the career prospects of long-term care technical intern trainees from a cross-cultural adaptation by a three-layer structure model. The three-layer structure model is composed of three aspects: mental adaptation, sociocultural adaptation, and self-actualization adaptation, with mental adaptation as the lower layer and progressing step by step to the upper layer. This time, we conducted a case study using a three-layer structure model for Vietnamese long-term care technical intern trainees. As a result, mental adaptation, sociocultural adaptation, and self-actualization adaptation were shown at the same time from the time of arrival. I think the reason for this is the distinctive international labor movement system. In other words, I think that they were able to make a smooth transition by entering Japan with the foundation for mental adaptation, socio-cultural adaptation, and self-actualization adaptation before coming to Japan.

1. はじめに

本稿の目的は「三層構造モデルによる異文化適応から見るベトナム人介護技能実習生のキャリア展望」を明らかにすることである。三層構造モデルとは、日本の医療・介護で働く外国人介護士の異文化適応におけるモデルである（図1）。心理的適応、社会文化的適応、自己実現的適応の3側面が求められ、下層から上層へと段階的な進行をたどる。つまり、下層の精神的適応を原点として、社会文化的適応の段階に進み、最後に自己実現的適応に到達すると論じている（畠中ほか:2013）。そして、畠中ほか（2013）は経済連携協定¹（Economic Partnership Agreement：以下EPAと記す）に基づくEPA制度開始直後に来日した東南アジア出身の外国人介護士11名を対象に事例的分析を行い、段階的な進行関係を読み取っており、適応は個人の努力だけで進むものではなく、日本人と外国人の双方の関りに基づき、時間と労力をかけて段階的に進展していくものとし、外国人労働者に対するホストからのサポートの重要性を論じている。

先行研究における職業的観点から見る異文化適応の研究は少なく、研究の多くは留学生や移民を対象としている（MASGORET, 2006）。数少ない職業人に関する先行研究では、主に企業から派遣される会社員（DUNBAR, 1994）、外国駐在の軍人、語学教師（Masgoret, Bernaus, & Garder, 2000）があり、異文化適応の影響要因としては、文化差（Dunbar, 1994）、ホストの態度（Florowski & Fogel, 1999）、個人の性格（Forman & Zachar, 2001）、職場教育としてのサポート（Black & Mendenhall, 1990）などがある。

職業人の異文化的適応の先行研究が少ない中で、Aycan（1997）は、心理的適応、社会文化的適応、職業的適応の3側面を想定し、Searle & Ward（1990）は社会文化的適応には態度の習得、言語能力の向上、ホストの行動パターンの学習など文化学習に関わる要素に着目している中、Ward & Kennedy（1999）は新環境での状況や日常的困難に効果的に対応する能力を特に注目している。効果的な職業遂行や、新しい職場環境へのポジティブな態度が職場適応の特徴とし、良好な心理的適応と社会文化的が、職業的適応を推進するとの理論的仮説を示していると論じている（畠中ほか, 2013）。

また、畠中ほかは（2014）、適応には個人の努力のみだけではなく、日本人と外国人の双方の関わりに基づき時間と労力をかけて段階的に進展するものであり、日本人に対する異文化間教育の有効性を論じている。

¹ 経済連携協定（EPA：Economic Partnership Agreement）とは、2以上の国（又は地域）の間で、自由貿易協定（FTA：Free Trade Agreement）の要素（物品及びサービス貿易の自由化）に加え、貿易以外の分野、例えば人の移動や投資、政府調達、二国間協力等を含めて締結される包括的な協定をいう。

以上畠中ほか（2013）の三層構造モデル及びそこに至るまでの先行研究について述べてきた。今回の研究対象は、EPA と同じ介護人材である介護技能実習生² とし、異文化適応の観点より三層構造モデルに当てはめて、上位構造の自己実現的適応である仕事へのやりがい感、充実感、将来の目標、つまり彼らのキャリア展望を明らかにしたい。

その前に、今回対象となるベトナム人介護技能実習生は特色ある国際労働移動システムにより来日しており、そのシステムを説明したい（図2）。

彼らは大阪府にある3つの社会医療法人³にて組成されたコンソーシアム（APS コンソーシアム）のプロジェクトにて来日している。このコンソーシアムがベトナムのハノイに介護教育施設を立ち上げ、その施設に3法人より1カ月交代で中堅管理職クラスの介護職員を一人ずつ講師として派遣し、彼らに介護教育を行っている。教育内容は介護初任者研修修了レベルをベースに講義も実習も日本語で行われており、日本より派遣された講師は、来日後、技能実習生にとって“上司”が“恩師”になるので、慣れない日本での生活や仕事になじみやすくなるという効果が期待できる。そして、その施設はベッドや車いすなどの福祉機器は日本より持ち込まれ、日本の施設さながらである。

また、彼らは派遣講師との交流の中で日本文化・習慣も学び、派遣講師も彼らとの交流によりベトナム文化・習慣を学び、双方向での文化・習慣理解が促進されていた。双方向の文化・習慣の理解促進は、SNS である Facebook の積極的なネット空間の活用によりさらに行われていた（小平, 2021）。高畑(2011)は、2008年から始まったEPAによる外国人ケア労働者の受入には、カルチャーブローカー、つまり出身地域・階層の文化との橋渡しをする「文化的媒介者」の必要性を述べており、日本からの派遣講師や派遣講師の発信する Facebook がその役割を果たしていた。

以上の特色ある国際労働力移動システムにて来日したベトナム人介護技能実習生を今回の研究対象とする。

2. 調査概要

² 2017年11月1日（平成29年11月1日）の「外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律」（平成28年法律第89号以下「技能実習法」という）の施行にあわせ、外国人技能実習制度1の対象職種に介護職が追加された。他の職種と比べると、対人業務であるが故に、日本語でのコミュニケーション能力がより求められる。

³ 社会医療法人愛仁会、設立：1958年11月、所在地：大阪市西淀川区佃2-2-46、代表施設：高槻病院・社会医療法人ベガサス、開院：1984年10月、設立：1995年、所在地：大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244、代表施設：馬場記念病院・社会医療法人生長会、開院：1955年11月、設立：1964年11月、所在地：大阪府堺市中区東山500-3、代表施設：ベルランド総合病院。

本調査は、第1回目は2020年2月の来日時、第2回目は2021年3月の来日1年目に実施した。対象は、大阪府にある3つの社会医療法人に所属するベトナム人介護技能実習生19名で性別は全員女性であり、第1回目は直接面談にて半構造化インタビュー法で行い、第2回目はテレビ電話による半構造化インタビュー法にて一人30分程度デエプスインタビューを実施し、インタビュー内容を心理的適応（心の健康・生存条件・衣食住）、社会文化的適応（対人関係・文化学習・職場環境）、自己実現的適応（充実感）にカテゴライズした。表1に協力者の概要を示した。

技能実習先は、急性期病院が4名(G, H, I, J)、リハビリテーション病院が4名(E, F, K, L)、介護老人保健施設が2名(A, B)、介護老人福祉施設が9名(C, D, M, N, O, P, Q, R, S)。来日時の日本語能力は、N2が1名(I)、N3が10名(A, B, C, D, E, G, H, J, P, R)、N4は8名(F, K, L, M, N, O, Q, S)。来日1年目においてのN3取得者は16名、N2取得者は3名であった。藤野(2019)は、日本語能力は介護福祉士国家試験の合格率だけでなく、来日時の仕事や私生活などさまざまな部分に影響を与えている。と論じている。看護師資格は「有」が14名(B, C, D, E, F, H, J, K, L, M, N, O, Q, S)、「無」が5名(A, G, I, P, R)。

倫理的配慮として、本コンソーシアムの責任者に対し、事前に文書で調査協力を依頼し、承諾を得たうえで実施した。調査対象者には、口頭にて、研究趣旨を説明し、協力は任意であること、個人や施設が特定されないこと、調査結果を公表することを明示し、研究協力を得た。本調査は、富山短期大学倫理審査委員会(R3-8)の承認を得て実施した。

3. 結果

来日直後の心理的適応からみてみよう(表2-1, 表2-2)。程度はあるものの“寂しさ”“不安”“心配”を訴える実習生は10人(A, B, D, E, F, H, J, N, P, R)いた。彼らの来日した2020年2月はちょうど日本国内にて新型コロナウイルスが蔓延しだした頃で、新型コロナウイルスに関して心配する技能実習生が3名(G, J, K)いた。“寂しさ”の解消のため11人が毎日家族とテレビ電話をしていた(A, B, C, D, F, G, J, K, N, Q, R)。一方で、「先生たちが関西空港まで迎えに来てくれて嬉しい。」という回答は5名(F, K, N, P, Q)いた。小平(2021)も第1陣の介護技能実習生たちの関西空港までの出迎えに対する喜びについて述べている。そして、13名が寮母のいる研修所に滞在していたが、「寮母さんのおかげで寂しくありません。」「寮母さんは日本のお母さんです。」「寮母さんはいつも優しくしてくれます。」「寮母さんのおにぎりや太巻き作りが美味しかったです。」という寮母さんに対する親しい思いを話した技能実習生が4名(B, M, O, P)いた。また、先輩の存在による安心感を話した技能実習生は3名(I, J, L)いた。

次に社会文化的適応からみてみたい(表2-1, 表2-2)。自分の日本語能力に

対する不安について語った技能実習生は 11 名 (A, B, C, D, H, J, K, M, N, Q, R) いた。一方で「先生や職員が手伝ってくれたり、助けてくれたり、教えてくれるから安心。」という回答は 11 名 (A, B, C, F, H, I, L, O, P, Q, S) いた。また、来日時の受入れ法人主催の入国セレモニーに対する嬉しさを話す技能実習生が 5 名 (F, H, K, L, M) いた。

次に自己実現的適応からみてみたい (表 2-1, 表 2-2)。日本語能力試験⁴ N2 取得希望者は 5 名 (E, J, M, P, Q) いた。日本語能力試験 N1 取得希望者は 4 名 (G, I, K, L) おり、うち 1 名 (I) は日本語能力試験 N2 を来日前に取得している。介護福祉士取得希望者は 7 名 (G, I, J, K, M, N, Q) いた。うち 1 名 (I) は日本語能力試験 N2 を来日前に取得しており介護福祉士取得のための講座の開講を希望していた。日本での希望滞在期間は 3 年間で 5 名 (A, B, D, H, R)、5 年間で 6 名 (F, J, L, O, P, S)、7 年間で 1 名 (G)、10 年間で 1 名 (C)、可能限り長い期間が 5 名 (E, I, K, N, Q) いた。その他個々の将来の希望キャリアとして、A さんは「ベトナムに帰って老人ホームを作りたいです」、B さんは「ベトナムに帰ってベトナムの老人ホームで働きたいです。ベトナムで薬局を開きたい」、F さんは「ベトナムに帰ったら日本人の働き方を教えてあげたいです。介護の先生になりたいです」、R さんは「将来、日本の病院に働くこと親切的な介護士になることが目標です」、S さんは「日本の働き方を勉強して国に帰ってから老人ホームで働きたいです。」と語った。

続いて来日 1 年後の心理的適応からみてみたい (表 3-1, 表 3-2)。新型コロナウイルスに対する心配を話した技能実習生は 6 名 (A, E, F, L, N, O) であった。また“寂しさ”を訴える回答は 3 名 (D, J, R) であった。家族と毎日テレビをするという回答は 1 名 (I) であった。一方で「日本に慣れた」、「日本の生活が楽しい」、「安心して生活をしている」という回答は 14 名 (A, B, C, D, E, F, G, I, J, K, M, N, O, P) であった。

つぎに社会文化的適応からみてみたい (表 3-1, 表 3-2)。方言を含む日本語に不安を抱えている技能実習生は 4 名 (A, B, M, N) であった。朝の申し送りの理解度 50%前後が 4 名 (A, B, F, M)、理解度 60%前後が 2 名 (N, R)、理解度 70%前後が 4 名 (J, K, L, P)、理解度 80%前後が 2 名 (H, Q)、理解度 90%前後が 1 名 (O) であった。職場の環境として日本人スタッフの技能実習指導を「優しい」、「熱心だ」、「親切だ」という回答は 16 名 (A, B, C, E, F, G, I, J, K, L, M, N, O, P, R, S) であった。その他日本人スタッフについて G さんからは、「日本人スタッフには優しい人とそうでない人がいますが、

⁴ 日本語能力試験 (JLPT など) の N1 から N5 の目安。N1: 幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。N2: 日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる。N3: 日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる。N4: 基本的な日本語を理解することができる。N5: 基本的な日本語をある程度理解することができる。

私は大丈夫です。私が間違った時は叱りますが、普通の時は笑顔です。楽しく日本人スタッフと話しています。」、Pさんからは、「日本人のスタッフは優しい人も厳しい人もいます。」という発言があった。また対人関係としてスタッフとの関係性においてIさんより「この前一緒に働いている副主任に日本語を教えてもらいましたが、とても優しくて分かりやすいです。」という発言や、利用者との関係性においてFさんから「利用者と一緒に話します。私も楽しいです。利用者さんがふるさと、日本の料理など沢山教えてください。」という発言があった。また、自分の介護技術に対する不安や仕事の大変さについて話した技能実習生は3名(B, D, O)いた。Dさんより「ちょっと少ししんどいですから、自分に頑張れと言います。お風呂介助で汗が出るので少ししんどいです。」という発言があった。

最後に自己実現的適応からみてみたい(表3-1, 表3-2)。日本語能力試験N4にて来日した技能実習生6名(F, M, N, O, Q, S)全員が日本語能力試験N3に全員合格した(表1)。また、日本語能力試験N2取得希望者17名(A, B, C, D, E, F, H, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S)いた。うちCさん、Hさん、Jさん、Pさんは日本語能力試験N2を受験し、Cさんは合格した。そして、日本語能力試験N2取得希望者17名のうち日本語能力試験N2を受験したCさん、Hさん、Jさん、Pさんを除く13名のうち受験日を具体的に決めている技能実習生は12名いた。日本語能力試験N1取得希望者は4名(G, H, I, L)おり、その中でIさんは日本語能力試験N1を受験したが不合格であった。介護福祉士取得希望者は18名(A, B, C, D, E, F, G, H, I, K, L, M, N, O, P, Q, R, S)いた。また、日本で看護師資格の取得を希望している技能実習生は2名(G, I)いた。日本での希望滞在期間は3年間で1名(E)、5年間で12名(A, D, F, G, H, J, K, L, M, N, Q, S)、8年間で1名(M)、10年間で1名(C)、可能限り長い期間が3名(B, I, P,)いた。Oさんより「2年後留学生として介護を学びたいです。いろいろ学びたいです。介護分野で留学したいです。施設の奨学金の話を知りました。できれば日本の介護をしっかり勉強したら、帰国後役に立つと思います。」という発言があった。仕事に対する充実感を語った技能実習生は12名(A, C, D, F, H, J, L, O, P, Q, R, S)いた。Aさんより「介護の仕事はいいことです。私は高齢者が好きです。利用者さんはおじいさん、おばあさんのようです。介護の仕事は好きです。利用者さんを手伝うことが嬉しいです。楽しいです。利用者さんが『ありがとう。』と言ってくれます。とても嬉しいです。」、Cさんより「食事介助をする時、すごくかわいい利用者さんがいます。おばあちゃん、おじいちゃんが可愛いです。食事介助をしながら利用者さんと話すことが楽しいです。」、Nさんより「初めてこの仕事をして難しくて大変だと思いましたが、やり方を勉強してだんだん好きになってきました。今は慣れました。介護の仕事は私に合っています。」、Rさんより「介護の仕事は好きだけど、合っているかまだわかりません。毎日毎日利用者さんの幸せな姿を見て私も幸せになります。仕事を上手になりたいです。」という発言があった。

4. 考察

来日時、“寂しさ”“不安”“心配”を抱えている技能実習生 11 名のうち 7 人が毎日家族とテレビ電話をしており、家族の精神的なサポートの重要性が分かると共に、家族からのサポートを得るためにも来日時直ちに Wi-Fi が使用できる環境の必要だと考える。また、藤野（2019）もベトナム人 EPA 介護福祉士候補者の受入においてベトナム人の伝統的な家族の支え合いについて述べており、家族と自由に話せる Wi-Fi 設備の完備の必要性を論じている。同じく、前田（2018）もフィリピン人技能実習生における家族からの心理的なサポートを得やすい環境づくりについて論じている。一方で、来日時に空港までベトナムに派遣された講師との再会と迎えに来てくれたことに喜びを語る技能実習生が存在し、心理的適応に繋がるものであり、前述の特色ある国際労働移動システムによるものと考えられる。また、先に来日した技能実習生の存在に“安心感”を得る技能実習生も存在し、家族に次ぐサポート力だと推察する。そして、寮母さんを母国の母親と重ねる技能実習が存在し、寮母さんとの触れ合いの中で心理的適応が促進されたとも推察する。同時に、寮母さんとのおにぎりや太巻き作りを通して日本の食文化にも触れており、社会的適応にも繋がると思われる。

社会文化的適応において、自身の日本語能力に不安を抱えている技能実習生 11 名のうち日本語能力試験 N3 合格者が 7 名存在している。介護技能実習生の入国要件である日本語能力試験 N4 程度を満たしているにも関わらず、日本語に不安を抱えている技能実習生がいることを受入施設は理解すると同時に、彼らの不安を解消させるためにも受入施設での継続した日本語教育の大切さを感じる。一方で、受入れ法人主催の歓迎会に喜びを感じる技能実習生がいたが、組織社会化という観点から見ると非常に重要である。組織社会化とは、「組織への新規参加者が、新たな役割・規範・価値を習得するという形で変化し、組織に適応していく過程」（Wanous, 1992）である。

また、来日直後から入国後研修において日本人介護職員から“安心感”を得ることができるのは、ベトナムでの介護教育を通して築かれた信頼関係によるものであり、本件の特色ある国際労働力移動システムは心理的適応と社会文化的適応に作用していることが判明した。

自己実現的適応において、日本語能力 N2、N1 の取得といった日本語能力の向上を目指す技能実習生が多く存在するが、他の技能実習の職種と異なり日本語能力が求められるからだとと思われる。また、来日時に既に日本語能力試験 N2 を取得している技能実習生が 1 名いるが、更なるレベルアップを目指して日本語能力試験 N1 取得を目指している。そして、国家資格である介護福祉士の資格取得にも言及し、そのための講座の開講を受入れ法人に求めており、意欲の高さが窺える。また、介護福祉士資格取得希望者は他にも 6 名存在しており、同様に意欲の高さが伺える。来日間もない段階で日本の“介護福祉士”という国家資格を認識し、取得まで考えられるのは、ベト

ナムにて日本人派遣講師の影響が十分に考えられ、本件の特色ある国際労働力移動システムは自己実現的適応にも作用していることが判明した。個人の発言においては、ベトナムへの帰国後のキャリア展望を語る技能実習生もいた。

日本での希望滞在期間は3年間、5年間、7年間、10年間、可能な限り長期間と5区分されたが、今後の日本での生活・職場環境、世界的に広がりを見せている新型コロナウイルスの日本、ベトナムの感染状況、家族の影響等により変化していくと思われるが、来日時点において彼らが自分たちのキャリアの展望を見据えていることが窺えた。

次に来日1年目の心理的適応からみてみたい。“寂しさ”を訴える回答は11人から3名に減少した。また、家族と毎日テレビ電話をするという回答は11人から1名に減少した。一方で、日本の生活に対して「楽しい」、「安心」、「慣れた」という回答が14名いた。このことから来日1年目にはほとんどの技能実習生は心理的適応を達成したと思われる。しかしながら、新型コロナウイルスの予防接種前でもあり、新型コロナウイルスの感染に不安を感じている技能実習生もいた。

次に社会文化的適応からみてみたい。来日時に自身の日本語能力に不安を感じる技能実習生は11名いたが、来日1年目には4名に減少した。このことは、来日1年以内に全員が日本語能力試験N3に合格していることに起因していると考えられる。日本語能力に不安を感じている4名全員の来日時の日本語能力はN3が2名、N4が2名でN3を取得したにもかかわらず、日本での滞在が1年経過しても不安を感じている技能実習生が存在した。また、本コンソーシアムにおいて技能実習生は毎日1時間、業務時間内に日本語学習をしている。その日本語教育は日本人スタッフが行っており、この結果成果として来日1年以内での全員の日本語能力試験N3取得に繋がったと考える。また、日本人スタッフによる毎日の日本語教育が技能実習生の日本語能力に対する不安の減少と職場での人間関係構築に寄与していると考えられる。また、職場環境において日本人スタッフの技能実習生に対する態度を好意的に受けとめている回答が16名と多く、技能実習生とベトナムに派遣された日本人スタッフとの良好な関係性が他の日本人スタッフにも発展したと推察する。そして良好な関係性は日本人スタッフのみならず利用者等とも構築されてた。一方で、自分の介護技術に対する不安を訴える技能実習生が存在するが、介護技術の向上意欲の高さと捉えることこともできるので、その不安な気持ちを解消し、自信につながる取り組みが技能実習現場にて求められると考える。また、朝の申し送りにおいて理解度が50%前後の技能実習生が4名おり、うち3名が自分の日本語能力に不安を感じている。さらにうち2名はN3を保有しており、それでも日本語理解力不足を感じている。一方で、同じ日本語能力N3で朝の申し送りの理解度が90%という技能実習生もいることから、日本人スタッフの朝の申し送り時における話すスピードや表現の工夫も必要だと思われる。

最後に自己実現的適応からみてみよう。来日時の日本語能力 N2 取得希望者は 5 名であったが、来日 1 年目においては 17 名に増加し、うち 4 名がこの 1 年間に日本語能力試験 N2 を受験し 2 名が合格している。また、来日時に日本語能力 N2 取得済者が不合格であったが N1 を受験していた。そして、国家資格である介護福祉士取得希望者は、7 名から 18 名に大幅に増加した。うち 1 名は技能実習生から介護福祉士養成施設への留学を希望しており、技能実習先である受入施設に相談をしていた。ほとんどの技能実習生が国家資格である介護福祉士取得を表明していることは、意欲の高さとして評価はできるが、日本での希望滞在期間が 3 年間という技能実習生が存在し、3 年間の日本滞在では介護福祉士取得は無理である。介護福祉士取得についてどの程度真剣に考えているのか迷うところである。また、日本で看護師資格取得を希望している技能実習生が 2 名存在したが、実現性を考えると無理ではないがかなりの障壁がある。しかしながら、技能実習生が高い意欲を表示している以上、当該コンソーシアムにおいて技能実習生に対してのキャリアカウンセリングやキャリアパスの提示が必要なのではなからうか。そして、真に技能実習生が上記資格等の取得を希望するのであれば、全面的なサポートを期待したい。

5. 結論

本稿の目的は、ベトナム人介護技能実習生の聴き取りから、三層構造モデルによる異文化適応から彼らのキャリア展望を明らかにすることであった。畠中ほか (2013) は、下層の心理的適応を原点として、社会文化的適応の段階に進み、最後に自己実現的適応に到達すると論じていたが、今回のベトナム人介護技能実習生の聴き取りからは、来日時より精神的適応、社会文化的適応、自己実現的適応が同時に示されるケースであった。そして、来日 1 年目にはさらに自己実現の適応性が高まっていた。その理由としては、特色ある国際労働力移動システムにあると考える。つまり、彼らが来日前に精神的適応、社会文化的適応、自己実現的適応のための素地を身につけて入国し、その後技能実習先である受入施設に円滑な移行を果たすことができたためと考える。多くの技能実習生が日本での滞在 1 年目で日本語能力試験 N2 の合格や国家資格である介護福祉士の取得を希望し、中には来日 1 年以内に日本語能力試験 N2 に合格したケース、日本語能力試験 N1 の受験をしたケース、日本の看護師資格の取得を希望するケース、介護福祉士養成施設への留学を希望するケースがあった。

しかしながら、どの程度本気に考えているのか、また日本での看護師資格取得は現実として障壁が高いケースもあるため、まずは、技能実習生に対して個別またはグループでのキャリアカウンセリング、各資格等の取得に向けたキャリアパスの提示が必要であると考え。金 (2010) はインドネシアから来日した介護福祉士候補者のケースとして、介護福祉士国家試験対策研修を受けていると国家資格取得に対する意識が高

いことを論じており、真に自らのキャリア形成に意欲的な技能実習生に対しては惜しめないサポートを期待したい。それは技能実習生のたのみならず受入れ法人にとっても将来的に有益であると考えからである。今後、ますます介護現場は日本人の介護人材確保は困難になり、外国人介護士のサポートが必要になる。そして、多様なルート⁵での受入れ方法がある中、今後、外国人介護士の日本語能力の格差が生じると考えられる。その時、日本語と母国語を話し、介護福祉士の資格を保有した外国人介護士が介護現場でのリーダーとして活躍する時代が来ると推察する。

最後に、今回の研究では、対象人数が19名と少なく、また特殊性のある国際労働力移動システムであるため結論を一般化できるものではない。また、彼らのキャリア形成に対する意欲は来日1年目において高いが、この意欲の高さの継続性や、特殊性のある国際労働力移動システムの成果が今後どの程度継続されるのか。引き続き調査研究を行っていききたい。

文献

- 金 美辰 2010. EPAによりインドネシアから来日した介護福祉士候補者の研修と介護福祉士国家資格取得への意識. 大妻女子大学人間関係学部紀要 人間関係研究 12 : 37-44
- 小平達夫 2021. 介護技能実習制度に伴う外国人ケア労働者の日本社会への流入. 富山大学大学院人文社会科学部研究科修理論文:25-28
- 高畑 幸 2011. 外国人ケア労働者をケアするのは誰か—経済連携協定より受け入れたフィリピン人介護士候補者をめぐって—. 社会分析 38号:43-60
- 島中香織・田中共子 2013. 外国人看護師・介護者らの異文化適応—三層構造モデルを用いた事例的分析—. 多文化関係学 10 巻 : 69-86
- 藤野達也 2019. EPA介護福祉士候補者受入れの現状と課題—国家試験受験前の帰国理由からの分析—. 淑徳大学研究紀要. 53 巻 : 153-163
- 前田健次 2018. フィリピン人技能実習生のメンタルヘルスに関連するリスク要因 : 文化変容方略に着目して. Journal of International Health Vol. 33 No4:303-312
- Masgoret, A. -M . (2006)、Examining the role of language attitudes and motivation on the sociocultural adjustment and the job performance of sojourners in Spain. International Journal of Intercultural Relations, 30, 311-331.
- Dunbar, E, (1994)、The German Executive in the U.S Work and Social Environment : Exploring Role Demands , International Journal of Relations, 18, 277-291.

⁵ 現在、外国人介護士を受け入れるルートは4つある。①EPA（経済連携協定）、②留学、③技能実習、④特定技能1号。

- Masgoret, A. M., Bernaus, M., & Gardner, R. C. (2000). Study of Cross-Cultural Adaptation by English-Speaking Sojourners in Spain. *Foreign Language Annals*, 33, 548-558.
- Florkowski, G. W., & Fogel, D. S. (1999). "Expatriate adjustment and commitment: The role of host-unit treatment". *International Journal of Psychology*, 2, 45-57,
- Forman, S., & Zachar, P. (2001), Cross-Cultural Adjustment of International Officers during Professional Military Education in the United States. *Military Psychology*, 13 (2), 117-128,
- Black, J. S., & Maendenhall, M. (1990). Cross-Cultural Training Effectiveness: A Review and a Theoretical Framework for Future Research. *Academy of Management Review*, 15 (1), 113-136.
- Aycan, Z. (1997). Expatriate adjustment as a multifaceted phenomenon: individual and organizational level predictors. *The International Journal of Human Resource Management*. 8, 434-456.
- Searle, W., & Ward, C. (1990). "The Prediction of psychological and sociocultural adjustment during cross-cultural transitions". *International Journal of Intercultural Relations*, 14, 449-464,
- Ward, C., & Kennedy, A. (1993). Where's the culture in cross-cultural transition? *Journal of Cross-Cultural Psychology*, 24, 221-249.
- Wanous, J. P. 1992 *Organizational Entry: Recruitment, Selection, and Socialization of Newcomers* (2nd.ed.). Reading, MA: AddisonWesley. 187

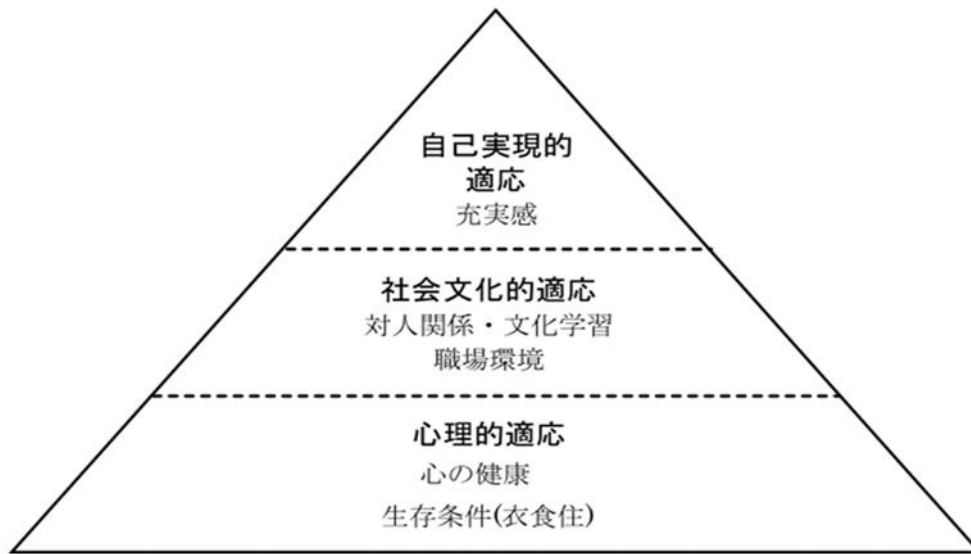


図1 異文化適応プロセスの三層構造モデル (畠中・田中・2012)

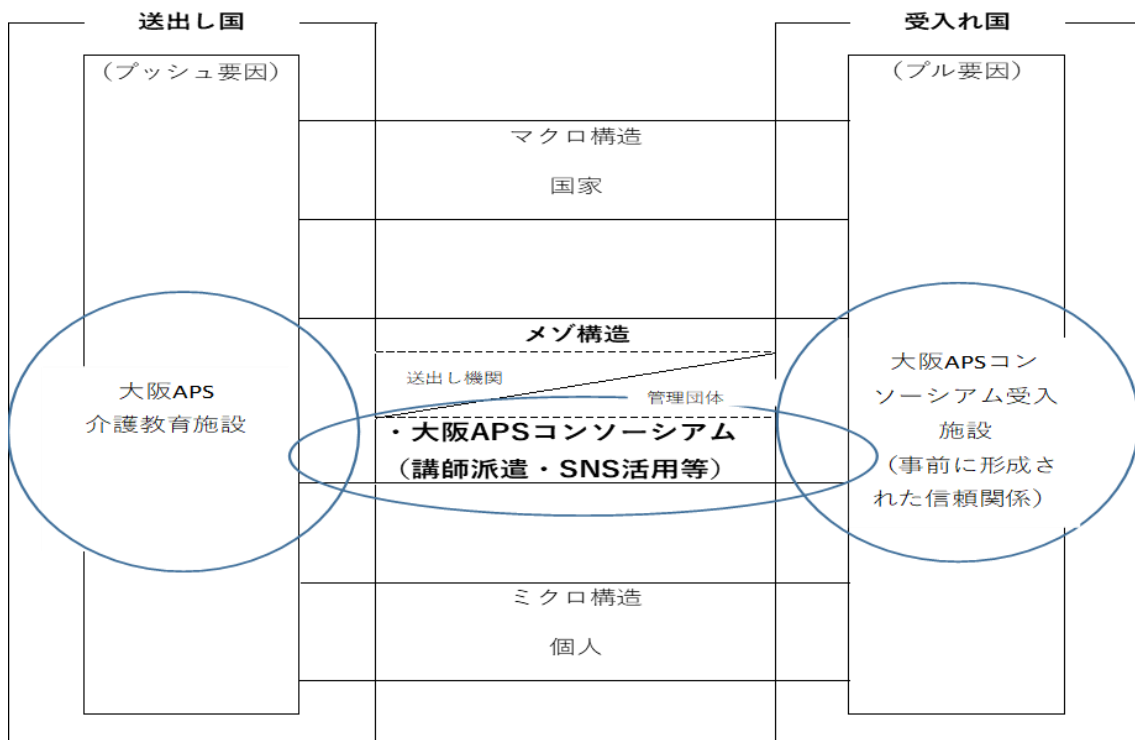


図2 特色ある国際労働力移動システム

表1 ベトナム人介護技能実習生概要

ID	実習受入れ施設	入国時日本語能力	母国の看護師資格	入国1年後日本語能力	入国1年後取得希望資格	1年後希望滞在期間
A	介護老人保健施設	N3	無	N3	N2/介護福祉士	10年
B	介護老人保健施設	N3	有	N3	N2、介護福祉士	永住
C	介護老人福祉施設	N3	有	N3	N2、介護福祉士	10年
D	介護老人福祉施設	N3	有	N3	N2、介護福祉士	5年
E	リハビリテーション病院	N3	有	N3	N2、介護福祉士	3年
F	リハビリテーション病院	N4	有	N3	N2、介護福祉士	5年
G	急性期病院	N3	無	N2	N1/介護福祉士/看護師	5年
H	急性期病院	N3	有	N2	N1/介護福祉士	5年
I	急性期病院	N2	無	N2	N1、介護福祉士/看護師	永住
J	急性期病院	N3	有	N3	N2	5年
K	リハビリテーション病院	N4	有	N3	N2/介護福祉士	5年
L	リハビリテーション病院	N4	有	N3	N1・介護福祉士	5年
M	介護老人福祉施設	N4	有	N3	N2、介護福祉士	永住
N	介護老人福祉施設	N4	有	N3	N2、介護福祉士	5年
O	介護老人福祉施設	N4	有	N3	N2、介護福祉士	10年
P	介護老人福祉施設	N3	無	N3	N2、介護福祉士	10年
Q	介護老人福祉施設	N4	有	N3	N2、介護福祉士	5年
R	介護老人福祉施設	N3	無	N3	N2、介護福祉士	永住
S	介護老人福祉施設	N4	有	N3	N2、介護福祉士	5年

表 2-1 ベトナム人介護技能実習生の適応項目に関する発言内容（来日直後）

ID	適応項目	発言内容
A	自己実現的適応 (充実感)	3年後ベトナムに帰って老人ホームを作りたいです。いい介護になりたいです。優しい世話をしたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本語がまだ上手でないので心配で不安です。先生たちが細かく教えてくれました。だんだん安心しています。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本に来たばかりで心配ですが、2週間がたちだんだん安心です。家族を思い出しますのでもっと寂しいです。日本に来て嬉しいです。毎日家族と2時間くらい話します。
B	自己実現的適応 (充実感)	毎日日本語と介護について一生懸命に勉強します。分からない時先輩、先生、友人に聞きます。高齢者の気持ちを理解できる介護士になりたいです。ベトナムに帰ってベトナムの老人ホームで働きたいです。3年後に帰りたい。ベトナムで薬局を開きたい。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本語が得意ではないのでコミュニケーションがちょっと困ります。とても心配です。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本に来たばかりの時は少し家族と離れますから寂しかったですが、先生と寮母さんのおかげで寂しくありません。寮母さんは日本のお母さんです。毎晩家族と1時間くらい話しますの家族は安心しています。写真を家族に送って、家族は喜んでます。家族はほめてくれていましたか家族に日本の生活の話をするのが安心しました。
C	自己実現的適応 (充実感)	私は高齢者といつも元気になってもらえる介護士になりたいです。できるだけ日本で長く住みたいです。ベトナムに帰ったら介護士になりたいと思います。可能であれば10年間住みたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	今、私は日本語がまだ上手ではありません。日本人の話すスピードは速いのでもっと聞き取れません。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	家族と離れ、少し寂しいですが皆さんと住んでいます。先生たちも手伝ってくれます。日本に来たばかりの時は家族のことを思い出しました。毎日家族と話します。お母さんは少し心遣いしていますが、いつも話しているので大丈夫です。
D	自己実現的適応 (充実感)	3年後ベトナムに帰ってベトナムの病院で働きたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	利用者の発音を聞くことができません。私は心遣います。大阪弁がちょっと心配です。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	初めて日本に来てちょっと心遣っています。でも日本語と専門介護を教えてもらって安心しました。毎日日本の音楽(FOR YOU)を聴きながら安心します。日本に来て嬉しいですがベトナムから遠いので、家族のことを思い出します。寂しくなります。寂しい時家族に連絡します。毎日両親と2時間くらい話をします。両親は心遣いしていません。
E	自己実現的適応 (充実感)	N2を取りたいです。できればずっと日本で住みたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本の料理はベトナムの料理より美味しいです。毎日介護を練習すること、日本語を勉強することが楽しいです。日本の文化を勉強したり、日本人の仕事のやり方を学んだりしたいです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	今、寂しいです。週に2、3回くらい2時間くらい話します。
F	自己実現的適応 (充実感)	ベトナムに帰ったら日本人の働き方を教えてあげたいです。介護の先生になりたいです。日本には5年間住みたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	先生たちは関西空港まで私たちを迎えに来てくれました。嬉しかったです。先生たちと皆さんと入国セレモニーに参加してとても楽しかったです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本に来てとても嬉しいです。ちょっと寂しいです。今、皆さんと住んでいます。先生も色々教えてくれます。私は楽しいです。毎日、母と娘と話します。家族はいつも応援してくれます。
G	自己実現的適応 (充実感)	プロの介護になりたいです。一番大切なことは利用者の気持ちを理解することですが一番難しいです。7年間くらい日本で働きたいです。N1と介護福祉士も取得したいです。N2の受験を7月1にします。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	本当に嬉しいです。日本の空気が綺麗です。とても綺麗でびっくりしました。日本人はとても親切です。昨日ベトナムに送りたい時コンビニの店員はとても優しくかったです。心配なことはコロナウイルスです。毎日母とお姉さんと1時間くらい話します。家族はあまり心配していません。友達と毎日電車で勉強に行くことが大変ですが、嬉しいです。友達と業務スーパーに行きました。楽しかったです。
H	自己実現的適応 (充実感)	日本人の働き方を勉強したい。高齢者の気持ちを理解できる介護士になりたいです。N2を取得したいです。3年後ベトナムに帰って日本語を使う仕事(日本の介護の先生)をしたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本語は上手ではないので心遣っています。入国セレモニーに参加しました。先生や友達と色々食べて楽しかったです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	初めて家族と離れましたが先生たちが沢山手伝ってくださるので安心してます。電車、バスで教室に行っていますが、ちょっと疲れますが大丈夫です。最初は家族と離れて寂しかったですが今は友達が沢山いて大丈夫です。
I	自己実現的適応 (充実感)	将来、介護の知識をベトナムで教えたい。介護施設を将来ベトナムで作りたい。できればずっと日本にいたい。ずっと日本にいたい。N1と介護福祉士を取りたいです。N1は今年取得したい。介護福祉士取得のための講座をして欲しい。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	実習職場で働いた時に初めて介護の仕事が始まるので分からないことが絶対ありますのでその時誰か教えてくれないと困ります。今はないけど働いた時を考えると不安です。先輩たちがいるところ(スーパー、梅田)に連れて行ってくれました。いつも優しく教えてくれます。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本に来て安心してます。日本人は優しいです。困った時、分からない時いつも教えてくれます。

表2-2 ベトナム人介護技能実習生の適応項目に関する発言内容（来日直後）

ID	適応項目	発言内容
J	自己実現的適応 (充実感)	介護の仕事は誰でもできる仕事ではないと思います。心から高齢者のお世話をします。介護の仕事が大好きです。もっと日本語を頑張ります。チャンスがあったら3年後にまた日本に戻ってきて2年働きたいです。できない時はベトナムで介護の仕事をしたいです。5年後はまだ分かりません。介護福祉士の資格を取りたいです。N2を今年の12月に取りたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本語がまだ上手ではないことです。3月16日より働きますが、日本語が上手ではないので上司、利用者さんと話す時困ると思います。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本に来たばかりはとでも心配でしたが、先生が手伝ってくれますので今は大丈夫です。先輩がいて安心してしています。日本の生活にまだ慣れていないので不安です。コロナウィルスを心配しています。毎日1時間ぐらい家族とグループで話します。両親は心配していますが、だんだん安心してきています。
K	自己実現的適応 (充実感)	日本でN1、介護福祉士を取得したいです。日本で仕事を続けたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	2月12日に日本に来ました。そのときAPSの先生たちが沢山来てくれていました。とても嬉しかったです。先生たちが少し早い日本語で話すので少し心配です。日本語は心配です。利用者の話がかかるか心配です。先生たちは日本でいろんなことを熱心に教えてくれます。皆さんとセレモニーに参加しました。とても嬉しかったです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	コロナウィルスが心配です。毎日家族と30分から1時間ぐらい話します。両親はコロナウィルスについて心配しています。
L	自己実現的適応 (充実感)	利用者の気持ちが分かる優しい介護士になりたいです。N1を取りたいです。3年後ベトナムに帰ってから介護の仕事が続けたいです。できれば日本に5年間住みたいです。5年後はベトナムに帰って介護をしたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	先生や先輩が手伝ってくれ安心です。先生たちにスーパーに連れていってくれました。それから、ペガサスのパーティー、APSのパーティーに参加しました。楽しく楽しかったです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本の生活は楽しいです。週末の日曜日だけ1時間から2時間ぐらい家族と話します。
M	自己実現的適応 (充実感)	介護福祉士になりたいです。N2と介護福祉士と取りたいです。優しい介護士になりたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本人の話すスピードは速いので時々聞き取ることができません。困っています。私の日本語はまだあまり上手くないので仕事で心配です。入国後パーティーが楽しかったです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	やっと日本に来て嬉しいです。日本の道はあまり分かりません。家族と3回/週ぐらい30分ぐらい話します。先週の休みの日に寮母さんにおにぎりや太巻きを作り方を教えてくれました。作るのは難しかったです。美味しかったです。
N	自己実現的適応 (充実感)	笑顔と健康をもたらす介護士になりたいです。介護福祉士資格を取りたいです。できるだけ日本でずっと仕事をしたいです。または、ベトナムの病院で働きたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	先生たちが空港まで迎えに来てくれて嬉しかったです。仕事でも大変ことが沢山あると思います。日本語が上手くないです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	毎日姉と妹と1時間ぐらい話します。今皆さんと料理をしています。寮母さんが毎日私たちと話してくれます。毎日嬉しいです。時々家族を思い出します。初めて外国での生活なので困ることがあります。
O	自己実現的適応 (充実感)	優しい介護士になりたいです。利用者に幸せに笑っていてもらいたいです。日本に5年間住んで、ベトナムに帰ってベトナム人に介護、日本の働き方を教えたいです。また日本に戻ってきたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本人は優しいです。例えば、先生たちや寮母さんは困った時いつも助けてくれます。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	寮母さんと皆さんとおにぎりを作りました。寮母さんにおにぎりの作り方を教えてもらいました。とても楽しかったです。おにぎりが一番好きです。寮母さんはいつも優しくしてくれます。毎日勉強することです。寮母さんのことをお母さんと呼んでいます。毎日家族と話すので家族は安心してしています。
P	自己実現的適応 (充実感)	一人前の優しくいつも笑って利用者の気持ちが理解できる介護士になりたいです。N2を取りたい。ベトナムに帰ったら介護士の仕事を続けたい。5年間ぐらい日本にいたい。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	一番嬉しかったことは関西空港に降りた時先生たちが迎えに来てくれたことです。とても感動しました。先週の土曜日は寮母さんと一緒におにぎりや太巻きを作りました。おにぎりも太巻きも美味しかったです。寮母さんはいろいろ教えてくれました。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	最初は日本に来て家族を思い出すのでちょっと寂しいですが、先生や寮母さんが優しく熱心に私たちの生活に気に掛けてくれているので安心してしています。1週間に3、4回30分ぐらい家族と話します。
Q	自己実現的適応 (充実感)	日本で仕事をしたいです。目標はいい介護士になりたいです。可能であればずっと日本で住みたいです。介護福祉士とN2を取得することが私の目標です。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	先生たちが空港に迎えに来てくれました。とても嬉しかったです。日本語がまだ上手ではないので不安です。先生たちが手伝ってくれますので困ったことはありません。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	毎日1時間ぐらい話します。両親は安心してしています。WiFiがあって家族と連絡ができました。家族には日本の先生達が色々手伝ってくれていることを家族に話しています。家族は安心してしています。
R	自己実現的適応 (充実感)	親切な介護士になりたいです。3年後ベトナムに帰ったら両親や他の人のお世話をしたいです。将来、日本の病院に働くこと親切な介護士になることが目標です。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	不安なことは日本語が上手ではないことです。困ったことはコミュニケーションです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本に来てちょっと寂しいです。家族を思い出しますが皆さんと一緒に住んでいます。先生も助けてくれます。大丈夫です。毎日両親、姪御と1時間ぐらい話します。
S	自己実現的適応 (充実感)	いい介護士になりたいです。日本に5年間ぐらい住みたいです。日本の働き方を勉強をして国に帰ってから老人ホームで働きたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本の先生は親切で大好きです。日本の文化とか日本人の働き方が分かりませんが日本に来て先生たちはいろんなことを教えてくれるので安心しました。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本に来てとても嬉しいので寂しくないです。

表3-1 ベトナム人介護技能実習生の適応項目に関する発言内容（来日1年目）

ID	適応項目	発言内容
A	自己実現的適応 (充実感)	介護の仕事はいいことです。私は高齢者が好きです。利用者さんはおじいさん、おばあさんのようです。介護の仕事は好きです。利用者さんを手伝うことが嬉しいです。楽しいです。利用者さんが「ありがとう。」と言ってくれます。とても嬉しいです。介護技術が高い介護士になりたいです。プロの介護士になりたいです。私の目標はN2を取り、介護が上手になりたいです。ベトナムに帰ったら介護施設を作りたいです。お金がかかるので難しいですが、作りたいです。ベトナムは介護施設が少ないからです。頑張りたいです。お取り寄りが好きです。介護福祉士も取得したいです。日本には5年間働きたいです。できれば介護福祉士を取得して10年ぐらいいいたいです。ベトナムで介護の先生もいいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	朝の申し送りは45%ぐらい聞き取れます。私はN2を受けますので、聴解のため早く話されます。スピードが速いです。分からない場合はもう一度スタッフに聞きます。日本人のスタッフはとても優しいです。利用者さんの大飯弁の発音が難しいです(歯がないのです)。その時スタッフを呼びます。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本に来て1年になりましたが、早く感じます。今はプライバシーがありますので、気持ちがいいです。お部屋が変わりました。良かったです。嬉しいです。今の部屋は好きです。日本のコロナ感染が増えているので心配ですが、職場から近いので大丈夫だと思います。日本の生活には慣れました。日本の交通は便利で道は綺麗いで安心して暮らせます。日本人は熱心です。日本で働きたいです。日本の悪いところはありません。
B	自己実現的適応 (充実感)	N2と介護福祉士を取得したいです。できればずっと日本で暮らしたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	この1年間は短いです。早く感じます。職場のスタッフはみんな優しいです。親切な人が多いです。問題がありません。日本語がまだ下手です。自分の介護技術に自信がありません。利用者さんは皮膚が弱いので、皮下出血が多いです。自分の移乗介助が心配です。自分の介護技術が不安ですが、自分のできることが増えて良かったです。朝の申し送りは50%ぐらい分かります。日本語が下手なので、困っています。私は自分の日本語に自信をもっていません
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	お風呂とトイレがあり、プライバシーがあります。便利です。日本で住んでいることは気分がいいです。日本人は親切な人面白い人が沢山います。日本の生活は楽しいです。家族とは1週間1回電話します。
C	自己実現的適応 (充実感)	食事介助をする時、すごくかわいい利用者さんがいます。おばあちゃん、おじいちゃんが可愛いです。食事介助をしなから利用者さんと話すことが楽しいです。3年間で仕事と日本語を修得したいです。また日本に戻りたいです。できれば愛仁会で働きたいです。12月のN2は落ちましたが、勉強を続けます。介護福祉士も取得したいです。まずはN2を取得したいです。日本には可能であれば10年間ぐらいいいたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	職場のスタッフはみんな教えてくれます
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本の生活に慣れました。家族とは2回/週電話します。
D	自己実現的適応 (充実感)	介護の仕事は好きです。介護福祉士を取得したいです。N2は漢字が難しいですが取りたいです。12月に取りたいです。日本で5年間ぐらい働きたいです。日本語が上手になりたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	ちょっと少ししんどいですが、自分に頑張れ！！と言います。お風呂介助で汗が出るのですこししんどいです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	この1年は早く感じます。日本の生活に慣れました。今も少し寂しいです。日本のコロナウィルスは心配です。
E	自己実現的適応 (充実感)	目標は介護福祉士になることです。日本では3年間ぐらい仕事したいです。3年後ベトナムで日本語を教えたいです。日本語の先生になりたいです。N2を12月に受験します。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	困った時はすぐに聞きます。スタッフは優しく親切です。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本の生活に慣れました。この1年間は早かったです。日本のコロナウィルスは少しだけ心配です。ベトナムの家族は心配しています。
F	自己実現的適応 (充実感)	介護の仕事は好きです。ベトナムに帰って、ベトナム人に日本の介護と日本の生活などを教えたいです。可能であれば日本で5年間ぐらい働きたいです。N2(12月)と介護福祉士を取得したいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	利用者と一緒に話します。私も楽しいです。利用者さんがふるさと、日本の料理など沢山教えてくれます。朝の申し送りは50%ぐらい分かります。スタッフは皆さん優しく、いつもいろいろなことを教えてくれます。とても安心しています。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	この1年間は早く感じます。日本の生活に慣れました。日本のコロナウィルスは少しだけ心配です。
G	自己実現的適応 (充実感)	N1を取得したいが難しすぎです。介護福祉士も取得をしたいと思います。日本に5年間ぐらいいいたいです。できれば看護師になりたいです
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本人スタッフには優しい人とそうでない人がいますが、私は大丈夫です。私が間違った時は叱りますが、普通の時は笑顔です。楽しく日本人スタッフと話しています。初めての夜勤でしたがみなさんいろいろ詳しく教えてくれました。みなさんいろいろな話せて楽しかったです。いろいろ教えてくれました。いろいろなことを勉強しました。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	生活には慣れました。・姉は今忙しいので、週2回ぐらい話します。
H	自己実現的適応 (充実感)	介護の仕事は好きです。・日本語が上手になりたいです。N2(12月)に合格しました。N1を取得したいですが難しいです。介護福祉士を取得したいですが、難しいと思います。日本で5年間働きたいです。ベトナムで日本語を使う仕事したいです。日本語の教員です。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	・朝の申し送りは75から80%ぐらい分かります。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	この1年間は早かったです。日本のコロナウィルスに慣れました。週3、4回時間ぐらい、時間があたら話します。
I	自己実現的適応 (充実感)	12月にN1を受験しましたが、ちゃんと勉強をしなかったで落ちました。今も看護師になりたいです。N1も取得したいです。介護福祉士の資格も取得したいです。日本にはずっといいたいですが、親は3年で帰って来るように言います。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本人のほまほま優しく教えてくれます。きつい人がいますが、どこにでもあります。この前一緒に働いている副主任に日本語を覚えてもらいましたが、とても優しく分かります。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本の生活に慣れました。毎日動画で家族と話しています。家族は日本のコロナを心配しています。

表3-2 ベトナム人介護技能実習生の適応項目に関する発言内容（来日1年目）

ID	適応項目	発言内容
J	自己実現的適応 (充実感)	介護の仕事は好きです。介護の仕事はもっと好きになりました。日本語が上手になりたいです。介護においても勉強して、帰国して病院で働きたいです。夕方から日本語センターで日本語の先生になりたいです。家族は3年で帰って来るように言いますが、私は5年間ぐらい働きたいです。12月にN2を受験しましたが不合格でした。また7月に受験します。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日勤はコールが多いので、たまに利用者さんの声が聞こえにくいのでスタッフに教えてもらえるのが大丈夫です。朝の申し送りは70%ぐらい分かります。私の病棟は重い病気の人がいます。看取りはめっちゃ怖いです。入ったことはあるけど見ただけ。大阪弁はだいたい分かります。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本の生活には慣れました。週2回家族と30分ぐらい話します。今は寂しいです。ベトナムに帰りたいですね。あと2年間ですね。今、友達といるので大丈夫です。
K	自己実現的適応 (充実感)	介護福祉士を難しいですが取得したいです。N2を12月に受験します。日本で5年間働きたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	朝の申し送りはだいたい分かりますが、病名とか分かりません。75%ぐらい分かります。スタッフはみんな優しいです。大好きな看護師さんがお家と職場が遠くて辞めました。寂しいです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	この1年間は早かったです。日本の生活に慣れました。コロナウィルスには大分慣れました。最近家族と週に3回30分ぐらい話します。
L	自己実現的適応 (充実感)	介護の仕事は好きです。毎日仕事やっていることが楽しいです。日本では5年間働きたいです。ベトナムでも介護の仕事をしてみたいです。介護福祉士を取得したいです。N2を12月に受験します。N1も受験したいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	朝の申し送りは70%ぐらい分かります。職場には厳しい人もいますが大丈夫です。毎日質問がある場合、詳しく教えてください。その場で嬉しいです。スタッフと話すことが楽しいです。日本語の勉強になります。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	この1年間はまあまあでした。コロナウィルスは心配ですがワクチンを打ちますので安心しています。家族とは1週間に3回1時間ぐらい話します。
M	自己実現的適応 (充実感)	3年後特定技能に移行するつもりです。日本には5年間ぐらい働きたいです。介護福祉士も取得したいです。3年後は特定技能を考えています。Tさんより特定技能について聞きました。日本に8年間ぐらい働きたいです。介護福祉士を取得したら日本にいたい。N2は今年の12月に受験するつもりです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本語がまだまだです。利用者さんより発音が悪いと言われるので、毎日練習しています。だんだん利用者さんは私の発音に慣れてきました。施設の優しく熱心でいつも説明してくれます。朝の申し送りは人によって違いますが、50%ぐらい分かります。分からない時はスタッフに聞きます。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	生活には慣れてきました。この1年間は短かったです。日本語がまだまだです。
N	自己実現的適応 (充実感)	N2を取得したいです。N1は12月にJLPTを取得しました。聴解レベルは良くなりました。N2は7月に受験したいです。介護福祉士も取得したいです。可能であれば日本に5年間働きたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	初めてこの仕事をして難しくて大変だと思いましたが、やり方を勉強してだんだん好きになってきました。今は慣れました。介護の仕事は私に合っています。朝の申し送りは60%から70%ぐらい分かります。分からない時はスタッフに聞きます。大阪弁は難しいです。職場では皆さんは声をかけてくれます。だんだん日本語ができるようになり、日本人スタッフと話せるようになり。日本語が一番問題です。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	この1年間は早かったです。コロナウィルスが心配です。この1年間どこにも行っていません。日本の生活には慣れました。家族とは1週間に2、3回1時間ぐらい話します。ベトナムの家族は日本のコロナをととても心配しています。
O	自己実現的適応 (充実感)	介護の仕事自身が楽しいです。利用者さんと一緒に過ごすことが楽しいです。介護の仕事が好きです。2年後留学生として介護を学びたいです。いろいろ学びたいです。日本語をちゃんと勉強して考えています。介護分野で留学したいです。施設の奨学金の話を知りました。7月にJLPT2級を受験します。留学生だと日本でずっと住むことができます。できれば日本の介護をしっかりと勉強したら、帰国後役に立つと思います。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	日本人の皆さんのおかげでいつも親切教えてください。皆さん優しいいつも教えてくれて嬉しいです。朝の申し送りは90%ぐらい分かります。移乗介助をやっていますが、最初は難しかったです。移乗介助が大変です。今もケースを書いています。簡単に書いています。日本語をスタッフに直してもらっています。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	日本の生活に慣れてきました。コロナウィルスはいまもまだ心配です。
P	自己実現的適応 (充実感)	12月のN2は不合格でした。7月に再度チャレンジします。7月にN2を受けます。できるだけ日本で働きたいです。介護福祉士を取得したいです。日本には8年間から10年間ぐらい働きたいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	介護の仕事は楽しいです。私にとって毎日利用者さんに会えることが嬉しいです。利用者さんは皆さん優しいですし、可愛いです。日本人のスタッフは優しい人も厳しい人もいます。人の性格ですから。利用者さんと時間がある時は折り紙、トランプをします。朝の申し送りは70%ぐらい分かります。大体分かります。パソコンで分からない時はスタッフが教えてくれます。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	1年間早かったです。日本の生活に慣れました。家族は日本のコロナを心配しています。家族とお週に3、4回1時間から1時間半ぐらい話します。
Q	自己実現的適応 (充実感)	介護の仕事は自分に合っています。介護の仕事は好きです。介護の仕事はちょっといい仕事だと思います。毎日利用者の世話を毎日元気なからいい仕事だと思います。N2は7月にJLPTを受けます。介護福祉士も難しいですが取得したいです。日本には5年間ぐらい働きたいです。5年後はベトナムに帰って考えます。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	利用者さんと話すことが楽しいです。日常会話が楽しいです。大阪弁に慣れましたが、分からない時は職員さんに聞きます。朝の申し送りは80%ぐらい分かります。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	
R	自己実現的適応 (充実感)	介護の仕事は好きだけど、合っているかまだわかりません。毎日毎日利用者さんの幸せな姿を見て私も幸せになります。仕事を上手くなりたいです。日本で長い時間働きたいです。N2を受けます。仕事をするには日本語の勉強が必要です。12月にN2を受験したいです。介護福祉士も取得したいです。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	朝の申し送りは60%ぐらい分かります。皆さんはいつも優しいです。分からない時は詳しく教えてください。いつも職員さんは声をかけてくれます。嬉しいです。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	この1年間は早かったです。仕事が好きなので働いている時が楽しいです。休みの時は1人で少し寂しいです。
S	自己実現的適応 (充実感)	7月にJLPT N2を受験します。3年後ベトナムに帰って、日本に戻ってきたいです。日本に5年間ぐらい働きたいです。家族はいいと言っています。父親は自分で決めてください。と言います。介護福祉士を取得したいですが、まだまだ私の日本語は下手です。まずはN2を取得したいです。介護の仕事は楽しくて、自分に合っています。
	社会文化的適応 (対人関係・文化学習・職場環境)	皆さんがいろいろなことを教えてください。楽しいです。スタッフは皆さん優しく、なんでも教えてください。
	心理的適応 (心の健康・生存条件 衣食住)	家族と週に1回30分から1時間話します。今は寂しくないです。